

「たのしいをいっばいつくる」

日進市制30周年ロゴ決定

日進市は来年10月、市制30周年を迎える。記念事業で使おうと、市が市民からの投票を募っていたロゴマークのデザインが、愛知淑徳大創造表現学部4年の滝口茜里さん(21)＝長久手市＝の作品に決まった。(平木友見子)

園児考案のテーマ 学生が形に

記念事業の統一テーマ「いっばいつくる」。昨年11月は、はくさん幼稚園(日進市)年長の青島朔久ちゃん(5)が考えた「たのしいを

いっばいつくる」。昨年11月、公募作品の中から選ばれた。「このテーマに合うデザインを」と同学部に依

市制30周年記念ロゴマーク＝いずれも日進市提供



頼したところ、9作品が出され、インターネットや公共施設、保育園などで市民に投票してもらった。

ロゴマークは「日」が昇るまちを、たのしいをいっばいつくりながら「進」む



イメージ。市を象徴する岩崎城歴史記念館や市立図書館、キャラクターのニッシーなどを一筆書きで表現した。色は太陽と市の木キンモクセイの花の色という。

滝口さんは「市の魅力や思いを詰め込んだロゴマークになった。どんどん魅力的な日進になっていくよう、お手伝いができたらうれしい」と語った。

市制30周年記念のテーマを考えた青島朔久ちゃん(左から2人目)、ロゴマークを作成した滝口茜里さん(同3人目)と近藤裕貴市長(日進市役所で

2023年9月1日(金) 中日新聞 なごや東版
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。